

事業計画書

(くすのき補助金)

<p>事業の目的 現状の課題 市民(地域)のニーズ 必要性</p>	<p>目的は、桜や音楽祭りをきっかけに、次世代に地域の良さを引き継いでいく人材を育てるとともに、新たな文化の創造・発信による二川宿・豊橋の国内外への発信することである。課題は、これまで約5年間活動をしてきたが、当たり前にある資源は何もしなければいつか無くなる。引き継ぐ人を育てていく必要があるし、地域の資源を磨き持続継続的なものにするために楽しい場を提供する必要がある。</p>																																		
<p>事業内容 実効性</p>	<p>主な内容 実効性</p>	<p>「春のさくら音楽祭り」として、プロ歌手や愛知県立芸術大学の生徒さんなどをお招きし、多くの集客を集め、梅田川の桜のPRとともに地域に根差した桜と音楽のまち二川の創出を図る。</p>																																	
	<p>スケジュール 実効性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予定日</th> <th>予定内容</th> <th>予定会場</th> <th>参加者数見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毎月</td> <td>役員会</td> <td>メイとバク</td> <td>5～7人</td> </tr> <tr> <td>隔月</td> <td>実行委員会</td> <td>メイとバク</td> <td>8人～15人</td> </tr> <tr> <td>随時</td> <td>講師との勉強会</td> <td>メイとバク</td> <td>5～7人</td> </tr> <tr> <td>11月15日</td> <td>秋のさくら祭り</td> <td>梅田川の二川町</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>3月下旬</td> <td>自治会と梅田川の草刈</td> <td>梅田川 河川敷</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>3月29日</td> <td>春のさくら音楽祭り</td> <td>二川宿本陣 第2駐車場付近</td> <td>300人</td> </tr> </tbody> </table>	予定日	予定内容	予定会場	参加者数見込	毎月	役員会	メイとバク	5～7人	隔月	実行委員会	メイとバク	8人～15人	随時	講師との勉強会	メイとバク	5～7人	11月15日	秋のさくら祭り	梅田川の二川町	50人	3月下旬	自治会と梅田川の草刈	梅田川 河川敷	30人	3月29日	春のさくら音楽祭り	二川宿本陣 第2駐車場付近	300人					
	予定日	予定内容	予定会場	参加者数見込																															
	毎月	役員会	メイとバク	5～7人																															
	隔月	実行委員会	メイとバク	8人～15人																															
随時	講師との勉強会	メイとバク	5～7人																																
11月15日	秋のさくら祭り	梅田川の二川町	50人																																
3月下旬	自治会と梅田川の草刈	梅田川 河川敷	30人																																
3月29日	春のさくら音楽祭り	二川宿本陣 第2駐車場付近	300人																																
<p>実施体制① (実施メンバー) 実効性</p>	<p>二川さくら守のメンバーを中心に行う。春のさくら音楽祭りには地域住民、企業の有志とともに実行委員会を作る。</p>																																		
<p>実施体制② (団体の特性) 専門性</p>	<p>昨年初開催に続き、今年3月31日に2回目の「春のさくら音楽祭り」を予定しています。こうした活動実績から、協力体制、運営能力も徐々に改善見込み。ボランティア30名程度は、さくら守で対応可。</p>																																		
<p>目新しさ ユニークさ 先駆性</p>	<p>手入れをされた川沿いの桜を愛でるだけでなく、プロや現役音大生による上質の演奏や歌を聴きながら、家族や恋人、地域の方々と過ごす楽しい機会を提供。今年も、本陣や駒屋、地域の企業等とも連携するとともに、テントを張ってお祭りらしき雰囲気を出す。</p>																																		
<p>市民(地域)への効果 公益性</p>	<p>二川の町は本陣資料館、商家駒屋等を中心に町づくり会が活発です。その中で、名所、旧跡めぐり等行っています。春には梅田川の桜もコースに入っている。元気になった桜と質の高い音楽に触れることで、憩いの場の提供、豊橋の良さの一つとして実感してもらい、住みたい、訪れたい、帰ってきたいまちに。さらに、観光の活性化につなげていきたい。</p>																																		
<p>今後の取組 継続性</p>	<p>平成32年で3回目の音楽のイベントとなる予定。毎年開催し、二川の文化として根ざすように、将来は、海外のアーティストなども招聘できるような音楽祭りとし、地域の誇り・愛着(シビックプライド)を醸成させていく。</p>																																		